

授業科目等の概要

(航空技術専門課程 パイロット学科 回転翼コース) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		実務経験教員配置 企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			航空法規Ⅰ	自家用操縦士に必要な法規則等について教授する。	1前	60	4	○			○		○		○
○			航空法規Ⅱ	事業用操縦士に必要な法規則等について教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			航空通信Ⅰ	自家用操縦士に必要な航空無線通信の知識について教授する。	1前	60	4	○			○		○		○
○			航空通信Ⅱ	事業用操縦士に必要な航空無線通信の知識について教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			航空気象Ⅰ	自家用操縦士に必要な気象について教授する。	1前	60	4	○			○		○		○
○			航空気象Ⅱ	事業用操縦士に必要な気象について教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			空中航法Ⅰ	自家用操縦士に必要な航法の知識について教授する。	1前	30	2	○			○		○		○
○			空中航法Ⅱ	事業用操縦士に必要な航法の知識について教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			航空工学Ⅰ	自家用操縦士に必要な空気力学及び航空機の構造の知識について教授する。	1前	90	6	○			○		○		○
○			航空工学Ⅱ	事業用操縦士に必要な空気力学及び航空機の構造の知識について教授する。	2前	60	4	○			○		○		○
○			航空機操縦法Ⅰ	自家用操縦士に必要な操縦要領の知識を特定の航空機を対象に実践的に教授する。	1前	60	4	○			○		○		○
○			航空機操縦法Ⅱ	事業用操縦士に必要な操縦要領の知識を特定の航空機を対象に実践的に教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			航空機取扱いⅠ	自家用操縦士に必要な構造、系統、装備品等の取扱い要領を特定の航空機を対象に実践的に教授する。	1前	30	2			○	○		○		○
○			航空機取扱いⅡ	事業用操縦士に必要な構造、系統、装備品等の取扱い要領を特定の航空機を対象に実践的に教授する。	2前	30	2			○	○		○		○
○			学科試験対策Ⅰ	自家用操縦士学科試験(国家試験)に合格するために必要な知識を教授する。	1前	90	6	○			○		○		○

授業科目等の概要

(航空技術専門課程 パイロット学科 回転翼コース) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実務 経験 教員 配置
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			学科試験対策Ⅱ	事業用操縦士学科試験(国家試験)に合格するために必要な知識を教授する。	2後	90	6	○			○		○		○
○			総合復習Ⅰ	自家用操縦士実技試験(国家試験)に合格するために必要な知識を教授する。	1後	60	4	○			○		○		○
○			総合復習Ⅱ	事業用操縦士実技試験(国家試験)に合格するために必要な知識を教授する。	2後	60	4	○			○		○		○
○			安全運航Ⅰ	自家用操縦士に必要な安全に関する知識、考え方を教授する。	1前	30	2	○			○		○		○
○			安全運航Ⅱ	事業用操縦士に必要な安全に関する知識、考え方を教授する。	2前	30	2	○			○		○		○
○			ウェザーブリーフィングⅠ	自家用操縦士として必要な気象状況を判断し、安全に飛行するための知識、考え方を実習を通じて教授する。	1通	120	4			○	○		○		○
○			ウェザーブリーフィングⅡ	事業用操縦士として必要な気象状況を的確に判断し、安全に飛行するための知識、考え方を実習を通じて教授する。	2通	240	8			○	○		○		○
○			操縦演習Ⅰ	自家用操縦士として必要な操縦技術、安全に飛行するための知識、考え方を実習を通じて教授する。	1通	240	8			○	○		○		○
○			操縦演習Ⅱ	事業用操縦士として必要な操縦技術、安全に飛行するための知識、考え方を実習を通じて教授する。	2通	240	8			○	○		○		○

必須科目：1830時間

実務経験：1830時間